

令和3年9月高浜市議会定例会会議録（第4号）

日 時 令和3年9月30日午前10時

場 所 高浜市議場

議事日程

- 日程第1 議案第43号 高浜市公共駐車場施設整備基金の設置及び管理に関する条例の制定について  
議案第44号 市道路線の認定について  
議案第46号 高浜市個人情報保護条例の一部改正について
- 日程第2 議案第47号 令和3年度高浜市一般会計補正予算（第5回）  
議案第48号 令和3年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1回）  
議案第49号 令和3年度高浜市土地取得費特別会計補正予算（第1回）  
議案第50号 令和3年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算（第1回）  
議案第51号 令和3年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第2回）  
議案第52号 令和3年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）
- 日程第3 認定第1号 令和2年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第4 認定第2号 令和2年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第3号 令和2年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第4号 令和2年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第5号 令和2年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第6号 令和2年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第5 議案第45号 令和2年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について  
認定第7号 令和2年度高浜市水道事業会計決算認定について
- 日程第6 認定第8号 令和2年度高浜市下水道事業会計決算認定について
- 日程第7 決算特別委員会の設置

本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

出席議員

1番 荒川 義 孝

2番 神 谷 直 子

3番 杉 浦 康 憲

4番 杉 浦 浩 一

5番 岡田 公作  
7番 長谷川 広昌  
9番 柳 沢 英希  
11番 北 川 広人  
13番 今 原 ゆかり  
15番 内 藤 とし子

6番 柴 田 耕一  
8番 黒 川 美克  
10番 杉 浦 辰夫  
12番 鈴 木 勝彦  
14番 小 嶋 克文  
16番 倉 田 利奈

欠席議員

なし

説明のため出席した者

市 長	吉岡 初浩
副 市 長	神谷 坂敏
教 育 長	岡本 竜生
企 画 部 長	深谷 直弘
総合政策グループリーダー	榊原 雅彦
秘書人事グループリーダー	神谷 義直
ICT推進グループリーダー	山下 浩二
総 務 部 長	杉浦 崇臣
行政グループリーダー	板倉 宏幸
行政グループ主幹	久世 直子
財務グループリーダー	清水 健
市 民 部 長	磯村 和志
市民窓口グループリーダー	中川 幸紀
経済環境グループリーダー	東條 光穂
税務グループリーダー	平川 亮二
福 祉 部 長	加藤 一志
地域福祉グループリーダー	加藤 直
介護障がいグループリーダー	野口 恒夫
福祉まるごと相談グループリーダー	野口 真樹
健康推進グループリーダー	内藤 克己
こども未来部長	木村 忠好
こども育成グループリーダー	磯村 順司
文化スポーツグループリーダー	鈴木 明美
文化スポーツグループ主幹	村松 靖宜

都 市 政 策 部 長	杉 浦 義 人
土 木 グ ル ー プ リ ー ダ ー	清 水 洋 己
都 市 計 画 グ ル ー プ リ ー ダ ー	島 口 靖
防 災 防 犯 グ ル ー プ リ ー ダ ー	杉 浦 睦 彦
上 下 水 道 グ ル ー プ リ ー ダ ー	石 川 良 彦
会 計 管 理 者	三 井 ま ゆ み
学 校 経 営 グ ル ー プ リ ー ダ ー	岡 島 正 明
監 査 委 員 事 務 局 長	亀 井 勝 彦
代 表 監 査 委 員	伴 野 義 雄

職務のため出席した議会事務局職員

議 会 事 務 局 長	竹 内 正 夫
副 主 幹	神 谷 直 子
主 査	杉 浦 幸 宏

#### 議事の経過

○議長（柳沢英希） 皆さん、おはようございます。

本日も円滑なる議事の進行に御協力のほど、よろしく願い申し上げます。

#### 午前10時00分開議

○議長（柳沢英希） ただいまの出席議員は全員であります。よって、これより会議を開きます。

初めに、当局より発言を求められておりますので、これを許可いたします。

総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） さきの3日目の関連質問のところ、すみません、手元に資料がなくて回答できませんでした町内会の入退会状況というようところで、回答させていただければと思います。

令和2年度の町内会の入会世帯数165世帯、退会世帯数が335世帯、令和3年度4月1日から9月27日現在ですが、それまでの入会世帯数は83世帯、退会世帯数が152世帯となっております。

退会理由につきましては、あまり詳細なことは聞いてございませんが、大体3割ぐらいが転入出や世帯主の死亡という形になっております。それ以外は、その他や不明というようなくくりでしかないの、それ以上のことは聞いておりませんので、よろしく願いいたします。

○議長（柳沢英希） お諮りいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） 御異議なしと認めます。よって、本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定いたしました。

これより本日の日程に入ります。

なお、審議の途中において、執行部のグループリーダー等が席を移動することがありますので、あらかじめ御了承をお願いいたします。

---

○議長（柳沢英希） 日程第1 議案第43号、議案第44号及び議案第46号を会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかをお示しいたきますようよろしくお願いいたします。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 議案第47号についてちょっとお聞きいたします。失礼しました、議案第43号です。

公共駐車場の施設整備基金ですが、これまで基金を設置してこなかったのはどうしてかということをお教えください。

○議長（柳沢英希） 総務部長。

○総務部長（杉浦崇臣） これまでについては、この9月のいつも決算のときに予備費に上げておきまして、そこでやっておったんですが、ただ、昨年度策定した長期修繕計画を基に今後は基金を設置し、計画的な運営を行っていく必要があるだろうというふうに判断しましたので、今回条例の制定をしたいというふうで提出をさせていただきました。

○議長（柳沢英希） ほかに。

[発言する者なし]

○議長（柳沢英希） ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第43号、議案第44号及び議案第46号の質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第43号、議案第44号及び議案第46号については、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり各常任委員会に付託をいたします。

---

○議長（柳沢英希） 日程第2 議案第47号から議案第52号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、議案、第何号議案であるかとページ数及び款、項、目、節をお示しいただくようよろしくお願いいたします。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 議案第47号ですが、ページ数でいうと61ページ、都市計画税の余剰金が出たということで1,986万7,000円が計上されていますが、都市計画税というのは、別の運用状況がなきゃいけないんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（柳沢英希） 財務グループ。

○財務G（清水 健） 都市計画税は目的税であり、都市計画の用途を明確にするために基金を設置しまして、それでそこに積んでいくということで、今回の都市計画税の充当できなかった分についても基金に積みまして、令和4年度から始まる雨水対策事業を考えており、そちらに充てるつもりでございます。

○議長（柳沢英希） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） ほかに質疑もないようですので、これを持って議案第47号から議案第……。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） 6番、柴田耕一議員。

○6番（柴田耕一） 補正の中の主要・新規事業の概要……。

○議長（柳沢英希） 柴田議員、マイクもお願いいたします。

○6番（柴田耕一） 主要・新規事業の概要で、2点ほどちょっとお聞かせいただきたいと思えます。

まず、主要・新規のナンバー2、小学校維持管理事業、吉浜小学校の旧コンピュータ室の普通教室化工事費、これは視聴覚設備等の撤去とここに書いてあるんですけども、視聴覚室というのは、校内緊急連絡や何かするための放送設備があるところとは違うのか、そこら辺のことを少しお聞きしたいと思います。

それと、ナンバー3の小学校維持管理事業の高取小学校緊急連絡装置整備工事費、これPHSによる無線方式の緊急連絡装置、PHSの通信というのはもう終了したじゃないかな。仮に23年3月までまだサービスを行うということですけども、この2年ほどでこれだけの費用を使うというのは、まだ何ですか、無駄だと思うんですけども、このほかに通信方法、このPHSに替わるものというのは、IP無線機というのか、そういうものがあるということをやっと調べたんですけども、Androidや何かのスマートフォンでアプリがありますので、そこら辺でインストールすれば間に合うんじゃないかというふうに考えておりますけれども、そこら辺のことを少しお聞きしたいと思います。

○議長（柳沢英希） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） まず、吉浜小学校の旧コンピュータ教室の普通教室化工事でございますが、視聴覚設備等の撤去というのは、現在、教室の中に両サイドにテレビをつるして、机の上のものがそこで投映できるような仕組みがございまして、それはもう現在、現時点では使って

いないものですから、放送設備とは別にそういう仕組みが残っているものですから、それを普通教室化するために撤去するというものでございます。

2点目の高取小学校の緊急連絡装置の整備でございますが、PHS方式が2年くらいでということでございますが、これ全く多分違うと思います。これ病院等々でもこのPHS方式で敷地の中の通信だとか外へ出て発信というのは、これ日常的に行われておる仕組みでございますので、業者からは15年から20年ぐらいは使えるという返事をいただいておりますので、そういう心配は当たらないと思っております。

○議長（柳沢英希） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第47号から議案第52号まで……。

すみません、柴田議員、6番とか言っていたけると助かります。

6番、柴田耕一議員。

○6番（柴田耕一） 先ほどPHSがまだ10年か15年という話があるんですけども、新しく、要するにもう高取小学校は、今年度か来年度ぐらから改修に入ると言うんですけども、そこら辺ひっくるめて、こういった通信施設というかこの緊急連絡網といえ、整備や何かできると思うんですけども、そこら辺はどういうふうに、別のあれで、わざわざ携帯電話みたいなあれでやらんでも、校内放送みたいなそういった施設ができると思うんですけども、そこら辺のことを含めて。

○議長（柳沢英希） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 今現在、高取小学校の中は、校内の各教室をつなぐということでインターホンでつないでいます。これは、もう各教室をつないでいるだけで非常に汎用性がなくて、今このPHS方式は高浜中学校と港小学校で入れておまして、何がいいかといいますと、事故が起きたときに、職員がそのPHSの端末を持っているものですから、まず職員にすぐ連絡ができる、消防のほうにでも、警察や消防のほうにでもそこから直接電話ができる、かつ日常的な例えば運動会だとかなんとかのときにも教員同士がやり取りするということで、そういう汎用性までを含めて、教室にインターホンをつけるのがいいのか、それとも汎用性が高いPHS方式のがいいのかという判断の中で、この方式を選択したものでございます。

○議長（柳沢英希） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第47号から議案第52号までの質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第47号から議案第52号までについては、会議規則第36条第

1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり各常任委員会に付託をいたします。

---

○議長（柳沢英希） 日程第3 認定第1号 令和2年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定についてを議題として、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、ページ数及び款、項、目、節を明確にお示しいただくようお願いいたします。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） では、まず歳入から行います。

ページ数、主要施策成果説明書の31ページ、14款なんですけど、2項国庫補助金、戸籍住民基本台帳費補助金371.0%の増ということで、これは、こちらの同じ冊子の94ページ掲載のシステム改修費の部分に大きく当たっている補助金という理解でいいのかという部分と、それから同じくこの下の道路橋りょう費補助金が前年比73.3%減っている理由、それから中学校費補助金が前年比に比べマイナス72.6%減っている理由、これ多分中学校は音楽室の改修費なのかなと予測されるんですけども、そのところを確認したいと思います。

引き続き歳入でいきますと、同じく34ページの17款寄附金、ふるさと応援寄附金なんですけれども、これ元年と2年合わせると1億4,000万円ぐらいですか、これは結局2年度が7,500万円ぐらいなんですけれども、7,500万円が今回ふるさと応援寄附金で市に入りました、でもそれに係る経費というのが、後ろにいろいろちょっと載っているんですけども、そこからどれぐらい経費がかかっていて、それから逆に市が、高浜市民の方がほかに寄附された金額、それが分かると思うんですけども、結局入った金額から経費、それから出ていった、よその市に納められた税金を引いた額、結局この応援寄附金を行うことによって、市にとってマイナスだったのかプラスだったのか、それが幾らだったのかということをお教えいただきたいと思います。

それから、45ページにいきます。

45ページの2款1項3目、市民予算枠事業なんですけれども、これ昨年度コロナ禍ということで、事業を行うことが困難ということで、返還金のほうが大分出ております。返還金が出ているんですけども、その中でもできたことがあるのか。これ交付金、全額返還されていないのが高浜づくり市民会議だけなので、ほかのところでもできたところがあるんだなということで、どのようなことができたのかということと、逆にこの市民会議さんがこれ事業が全部できたのかなと思うので、この内容及び成果についてお聞かせください。

それから、次のページ、46ページなんですけれども、2款1項3目の地域一括交付型、高浜小学校区の3世代交流事業、これも何か全部コロナ禍でできたようなんです、事業ができたのかなというところですので、どのような活動がコロナ禍においてもできたのか、教えていただきたい

などと思います。

それから、次の47ページ、2款1項3目、(1)の地域内分権推進事業交付金、これ昨年も聞いたんですけども、各まち協での昨年度末での積立金や繰越金をまち協ごとに教えてください。

それから、次のページ、(5)の庁用器具費と機械器具費、こちらがまち協がどこで使うのかということとか、どこで使われるのかが書いていないんですけども、どこで利用できるのかというところをお示してください。

それから、ごめんなさい、歳出いっていましたね、すみません。

では、引き続き49ページの2款1項4目、情報公開事業、これを見ると、この件数とそれから答申の状況とかいろいろ見ておきますと、明らかに審査会の決定が出るのが遅いようなんですけれども、審査会の平均決定が出る期間、これは平均的に多分すごく簡単なものから難しいものまでいろいろあるかと思うんですけども、平均でどれぐらいで審査請求に係る決定が出るのかということをお教えいただきたいのと、審査会に係る諮問されている案件が多いにもかかわらず、1年間に9回しかこれ見ると開催されていないので、開催を増やす考えはないのかなというところで、それを言うのはやっぱり審査会の決定が遅くなれば、市民の知る権利が侵されるというか、遅くなってしまうという認識ではないのかなと思いますので、そのあたりの認識における開催回数はこれでよかったのかという、そのあたりの検証も教えていただきたいと思います。

それから、続きまして51ページの2款1項6目1節市長及び副市長の行政活動事業で、備品購入費として市長車を1台購入されております。購入理由を教えてくださいのと、これやはりどこの自治体も財政状況苦しいということで、近隣市でも議長車と市長車を一緒に1台で活用するといったような自治体もございますので、そういう検討はされなかったのか、もし検討されているのであれば、結果を教えてください、どういう考えでこの車を買ったのかというところを教えてくださいと思います。

引き続き2款1項7目、1の定員適正化事業、今年が595万7,911円なんですけれども、昨年度が862万4,462円でした。なので、ここの部分がすごく減っているものですから、その理由を教えてください。

それから、同じくここの54ページになるんですけども、職員の衛生管理事業費、ここで長時間労働者に対する面接指導ということで、時間外勤務が1か月100時間以上の職員が3名ということで記載されております。これやはり過労死ラインというのは80時間以上と言われておりますので、100時間以上の職員が3名いるというのも、ちょっと残念なことかなと思うんですけども、ここの3名の部署、どこの部署の職員だったのかということと、それからこの下に医師の面談実施者数というのが4名と書かれているんですけども、この4名が、全員この3名が受診しているのかどうかということも分かりませんので、この3名のうち医師の面談を全員受けたかどうか、何名受けたかどうかということを確認したいと思います。

それから、引き続き2款1項8目、広報広聴事業の(4)シティプロモーション業務委託費、高浜市観光協会のほうに248万6,000円、こちらの内容と、あと職員の方が現在というか昨年度観光協会何名見えるのか、今年度ももし分かれば教えてください。

それから、2款1項11目、ページ数でいきますと59ページ、財産管理事業、(1)の火災保険料、たしか昨年度、火災保険料のほうは、旧分院に係る部分については一昨年度、別で主要施策のほう上がっていたんですけれども、昨年度から火災保険料がこちらの共済会のほうに一括していますよというような説明があったかと思います。ここに今年度も旧分院は入っていますかというところと、入っていれば具体的な金額を教えてくださいたいと思います。

それから、その下の委託料、土地関係の委託料が4件入っております。こちらが今後、上の事業のところを見ていくと、市有財産の適正な管理と有効活用ということですので、今後ここで調査とかされたところに関しましては、どのような活用がされていくのか、何町の土地とか、分かる範囲で結構ですので、教えていただけたらと思います。

それから、引き続き61ページ、2款1項12目のまちづくり協議会サミットの開催ということで、10月9日にまちづくり講話「まちづくり協議会システムのこれから」ということで、令和3年度の予算編成に向けてということで、こちらの参加人数も教えてください。

途中で止めたほうがいいですか、1回。まだいいですか。

○議長(柳沢英希) じゃ、こちらで一旦切っていただければと思います。

答弁のほうを求めます。

行政グループ。

○行政G(板倉宏幸) 情報公開の関係での御質問について答弁させていただきます。

審議会に対する答申の平均的な回数ですけれども、大体2回から3回の審議会に対して1件の答申を行うような形となっております。

また、件数が多い中で審査会の回数を増やすべきではないかという御質問、御意見についてでございますが、コロナの関係等もございまして、審査会の回数は昨年度9回というものは、前半にコロナの関係で開催ができなかったというところもございまして。

また、委員さんには弁護士さん等もいらっしゃる中で、委員さんのスケジュール等も考えますと、月1回程度の開催で審査を行い、ただ審査の内容については、同様な案件等を整理しながら、なるべく多く効率的に出せるように努めていくという形で対応をしていきたいと考えております。

○議長(柳沢英希) 秘書人事グループ。

○秘書人事G(神谷義直) では、続きまして主要成果の51ページ、市長及び副市長の行政活動事業のことについて御答弁させていただきます。

1点目の御質問の市長車の購入の関係でございます。理由といたしましては、旧市長車、21年間使用しておりました。そういったところも踏まえまして、非常に故障も多かった状況でござい

ました。そういうところから、新たに今回、市長車のほうを購入させてもらったという形になります。ただ単に車を購入するだけではなく、災害時にも電源確保ができるというところで、そういった車種の車を選定しております。

また、市長車と議長車の関係でございますが、特に市長車の購入に当たっては検討はしていないんですが、今後例えば議長車を購入する際には、そういった議論も出てくるかなというふうに考えております。

続きまして、52ページになります。

定員適正化事業の事業費の減額の理由でございますが、平成2年より、人事システムですとか出退勤等の庶務管理システムの全部の更新を行っております。そういった関係の費用の減額というのが理由になります。

続きまして、飛びまして54ページになります。

職員の衛生管理事業の関係の長時間の勤務の関係でございますが、3名と記載がしてございます。こちら全て税務グループの職員になりまして、確定申告が終わった後の台帳整備等で、4月分になるんですが、3名とも4月分の時間外が100時間を超してしまったという状況でございます。また、その職員全てが面談のほう行っておるという状況でございます。

以上でございます。

○議長（柳沢英希） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） まず、歳入のふるさと応援寄附金のところからですが、令和2年度のふるさと応援寄附金の歳入としましては、記載ありますように7,523万6,248円でございます。対する支出としましては3,246万7,291円。高浜市民の方が他市へのふるさと納税した結果、寄附控除というか税額控除となった金額については6,240万8,613円となっており、差し引きしますと約1,964万円のマイナスというような形となっております。

次に、45ページのところ、市民予算枠、協働推進型のところですか、返還金というようところで、実際どんなことができていたのかというところですが、例えば子ども防災リーダー、高浜の防災を考える市民の会については、子供を集めて実際講座をやるということが難しいというところございました。ただ、そういったせっかくチャンスと捉えて、スタッフの研修、スキルアップ研修にこの年は充てようということで、オンライン、Zoomを使いまして、実際の東北のほうの方と研修、話し合いをしたり、実際いつも来てくれている講師の方と研修をしたりと、スタッフのスキルアップを図ったというところがございます。

渡し場かもめ会につきましては、毎月やっている海岸清掃等々については実施をしているというところがございます。あと、海の標語募集も実際人が集まるということではなくできるので、そういったことはしているというところがございます。

“昭和”で元気になる会さんにつきましても、最初はやはりコロナの影響でできなかったんで

すが、少し宣言とかが明けて、感染者数の発生も緩やかになったタイミングで少し実施をされておりまして、認知症カフェについては6回やってございます。あと、回想法研修を1回、コグニ体操教室を1回というような形で実施をされてございます。

高浜づくり市民会議さんにつきましては、こちら令和3年3月7日に「タカハマ物語3」の上映会をやられております。それに向けての編集だったり撮影というようなところ、実際上映会のところもそうですが、そういった部分で活動については実施をしておりますので、全額というような形になってございます。

46ページでございます。3世代交流事業、こちらは全部執行しておりますが、こちらにつきましては、たかびあも新しくオープンするという中で、花壇の整備に充てているというようなことをお聞きしてございます。

続きまして、47ページ、繰越金のところでございますが、令和2年度末というところでの数字になりますが、南部まちづくり協議会につきましては繰越金が332万円、吉浜まちづくり協議会については、繰越金としては292万4,000円、プラス、ここは積立金がございます、積立金が544万4,000円、翼まち協につきましては繰越金が142万4,000円、高取まちづくり協議会につきましては繰越金93万3,000円、高浜まち協につきましては285万円の繰越金が発生をしております。

続きまして、48ページ、庁用器具費の部分でございますが、こちらにつきましては、コミュニティ助成事業の補助金を活用して購入をしたものになりますが、大型インクジェットプリンターやモバイルスクリーン、印刷機、こちら印刷機につきましては、ふだんのところでいろんな団体さんが印刷機を使います。既にあったものが少し古くなってきましたので、その買換えというところでございます。

大型インクジェットプリンターにつきましては、イベント等で数枚のポスターとかを印刷するときに、業者に発注するよりは自分のところできるといような形で購入をしております。

あと、DVDカラオケシステムにつきましては、イベント、夏祭り等々で使おうと思っておったんですが、購入はしたんですが、実際夏祭りが開催できませんでしたので、購入しただけといような形に今現在はなってしまうてございます。

次に、55ページのシティプロモーション業務のところでございますが、こちら内容につきましては、主要成果に書いてありますように地場産品の広報に関する業務、地場産品の発掘及びふるさと納税の謝礼品の選定業務ということで内容にはなっておりまして、こちらのシティプロモーション業務のおかげで、57品の新しい地場産品の発掘につながっております。

また、観光協会の職員の人数なんですけれども、ちょっと全体の人数は、すみません、私のほうでは把握しておりませんが、このシティプロモーション業務委託に係る職員といような形で、仕様としては、週3日間、平日勤務の人が1人分といような形での委託としてございます。

次に、61ページのまちづくり協議会サミットの10月9日実施したときの参加人数ということでございますが、まちづくり協議会サミット自体が各まち協の会長、事務局長というような形になっておりますので、市民の方は10名というような形になってございます。よろしく願いいたします。

○議長（柳沢英希） 財務グループ。

○財務G（清水 健） 主要施策成果の59ページになります。火災保険料ですが、こちらに旧高浜分院は加入物件数として含まれております。金額は5万9,632円となっています。

その下の委託料でございますが、こちらの測量、調査等は、普通財産の売却予定地の2か所を委託したものでございます。場所は、青木町五丁目と八幡町一丁目になります。

以上です。

○議長（柳沢英希） 土木グループ。

○土木G（清水洋己） 31ページの国庫補助金、道路橋りょう費補助金の減についてということで、社会資本整備総合交付金ということで、令和元年度には2事業、舗装修繕と橋梁点検を行っておりましたが、2年度については舗装修繕のみということで、事業の減によるものでございます。

以上です。

○議長（柳沢英希） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 同じく31ページ、中学校費の補助金の減額ということでございますが、令和2年度につきましては、高中の音楽室の増築工事とコロナの関連の交付金をいただいております。減額要因としましては、令和元年度に空調設置に係る臨時交付金を約4,200万円ほどいただきましたので、その分がなくなったということによる減少でございます。

○議長（柳沢英希） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（中川幸紀） 主要成果31ページの国庫補助金につきまして、補助率10分の9の3つの国庫補助金の合計となりまして、個人番号カード交付事業費補助金、個人番号カード交付事務費補助金、社会保障・税番号制度システム整備費補助金で、戸籍システム修正業務委託料として支払った額の補助が主な増額要因となっております。

以上となります。

○議長（柳沢英希） 副市長。

○副市長（神谷坂敏） 主要成果51ページの市長車と議長車との共用についてであります。私どもとしては拒むものは決してありませんが、その辺については議会のほうでお考えをいただければというふうに思います。

○議長（柳沢英希） 答弁漏れはございませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） 答弁漏れというか、ちょっと認識の違いかなと思うんですけれども、先ほどの情報開示の審査請求の件で御答弁いただいたんですけれども、2から3回で平均的に答申のほう出ているよというお答えだったかなと思うんですけれども、2から3回というのは、これ基本1か月に1回程度で9回という理解だと、2か月から3か月で平均的には出るという理解でいいのかということを確認したいと思います。中には、やっぱり2年以上出ていないというものもありますので、あまりにも長いものがあるなということもありますので、できればちょっと一番長くかかっているもの、それから一番短くお答えできたものがあれば教えてください。

それから、先ほどの「タカハマ物語3」、こちらが何名ぐらいの参加者があったのかなというところと、ちょっとこれ答弁漏れなのか、私の質問漏れか分かりませんが、46ページの3世代交流事業の花壇の整備されましたという話なんですけれども、こちらの主催者、主催者についてお聞きしたいと思っております。

それから、45ページの庁用器具費と機械器具費について、今、御説明いただきましたが、結局これどこのまち協というのが書かれていないものですから、どこのまち協さんも使っていないのか、どの範囲の方が使えるのかというところを確認したいなというところで先ほど御質問申し上げましたので、そこまでちょっとできればお願いします。

○議長（柳沢英希） 行政グループ。

○行政G（板倉宏幸） 2回から3回で1件というふうに答弁させていただきましたけれども、1件につき2回から3回というふうに御理解いただければと思います。ですので、昨年度、令和2年度になりますと答申5件になりますが、実際には先ほど御説明もさせていただいたように、類似案件はまとめて、諮問されているものも一つの答申で答申させていただいているものもごございますので、件数的に見ますと、12件の諮問件数に対して令和2年度については答申をさせていただいているという形になります。

あと、長いものは何回ぐらいか、短いものは何回ぐらい審査しているかということですが、令和2年度におきましては、長いものと大体3回、短いものでしたら2回の審議を行っているというふうに御理解いただければと思います。

○議長（柳沢英希） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 3世代交流事業につきましては、主催者は高浜小学校のPTAさんになります。

あと、高浜づくり市民会議の人数でございますが、ちょっと上映会の参加人数は分かりませんが、実際の作る側につきましては、小学生3名、中学生15名、高校生10名、大学生4名、大人30名とお聞きしてございます。

続きまして、庁用器具費のところ、すみません、どのまち協かが漏れておりまして、申し訳あ

りませんでした。印刷機につきましては翼まち協、大型インクジェットプリンター、DVDカラオケシステムにつきましては高浜まち協、プロジェクタースクリーンは吉浜まち協という形になっておりまして、基本まちづくり協議会の構成団体さんであれば使えるというようにしております。また、まち協を超えて融通が利けば使うということも可能でございますので、よろしくお願いいたします。

○議長（柳沢英希） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） では、質問を続けたいと思います。

2款1項12目、ページ数でいくと66ページ、こちらが音声によるメンタルヘルスシステムの運用ということで、市の職員を対象にこういったアプリを使って心の現状把握をしていくということで、参加人数82名って書かれているんですけども、こちら実施したことによる成果というか、結果というか、そのあたり教えてください。

それから、次のページ、テレワークシステムの導入、2款1項12目の（5）テレワークシステムなんですけれども、こちら今回システムを委託料入れて導入したということなんですけど、なかなかちょっと市の職員の方が、テレワークシステムやるというのは非常に難しいというのは分かるんですけども、今回あえてコロナもなかなか終息しないというところで活用されているというの意味でも、テレワークがどのぐらい進んだのかということと、1日平均何名ぐらいがテレワークできて、トータルで何名ぐらいテレワークができたのかなというところを教えてください。

それから、下のRPAシステムの導入、これ実際に具体的にいつから始めて、どのような結果があったのかについても教えてください。

続きまして、ページめくっていただいて69ページなんですけれども、2款1項12目、市民アイデア事業で、委託料220万円、これテレビの製作委託ということで、これ私、たまたま知って録画で見たんですけども、やはりこれ放映権というか権利の関係で、一度放映されたということで終わってしまって、やっぱり市として今後何か使えるということはやっぱりないのかなというところを確認したいなと思っております。

それから、その下のかわらメダル製作ということで、金、いぶし銀、銅ということで100セット造られたんですけども、こちらはどのように使用されたのかというところを確認したいと思います。

次ページ、70ページ、2款1項12目の記録・PR事業なんですけれども、こちらで記念品制作業務委託料614万640円と825万円ですか、こちらなんですけれども、この下に取組項目ということで、スタンプラリーとワークショップと瓦グッズ販売が書かれているんですけども、この業務委託料と著作権使用料というんですか、この両方が、この下の3つの取組項目に使われたという理解でいいのかというところをまずお聞きしたいと思います。

それから、もう一つなんですけれども、これホームページから見ることはできるんですけども、令和2年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、これ国のほうからコロナ禍において補正予算で下りてきたものですよね、皆さん、よく御存じなんですけれども、これが、令和2年度分が国のほうから、これを見ると3億円、市のほうに入っております、この令和2年度のこの交付金を活用した事業一覧というのが書いてございます。

この事業名を見ますと、例えば新型コロナウイルス感染症対策企業支援事業とか、信用保証料補助事業とか、皆さん、よく御存じのプレミアム商品券とか、あと児童扶養手当の臨時特別給付金とか、例えば学校だと学校臨時休業対策費補助金とか、あとはGIGAスクール構想推進事業とか、一覧がばあって載っているんですね。

この614万円と825万円、それからその下の委託料、記念展示物製作業務委託230万円、これを足した金額が1,669万640円になると思うんですけども、この事業がばあって書かれている中の一つに、事業名として地域の魅力の磨き上げ事業って書かれておまして、その中で事業概要、そして事業結果・成果、これを読むとこの「鬼滅の刃」の委託料、そしてこの「鬼滅の刃」とコラボした……。

○議長（柳沢英希） 倉田議員、質疑もう少し明確にお願いします。

○16番（倉田利奈） すみません、ちょっと分かりにくくて申し訳ないんですけども、この事業なのかなと思うので、この地域創生の臨時交付金の金額を見ると、あと内容を見ると、この3つの委託料なのかなと思いますので、その確認と、それからこれだと記録・PR事業ということと、地域創生臨時交付金の何でこれを国が交付したかというのを読むと、コロナ感染症対応のためって書いてあるものですから、それでいくと、この3つが当てはまるというのがなかなかちょっと私の中で理解できなくて、事業概要と事業結果・成果を読んでも、何度読んでもちょっと理解できないものですから。

○議長（柳沢英希） 要点をまとめて質疑をしてください。

○16番（倉田利奈） そのあたりをちょっと理解できるように御説明いただけたらなと思います。

○議長（柳沢英希） すみません、質疑の途中ですけれども、倉田議員に申し上げます。

あくまでも今日は総括質疑でございます。倉田議員、議会運営委員会でも御承知のとおりですけども、今後、予算委員会を設置して付託をされるというふうになっておりますので、そこを踏まえた上で……。

〔「決算、決算委員会がいいんです」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） 決算委員会が設置されるということもしっかり理解をした上で、総括質疑であるということをしかりと理解をしてお願いいたします。

それでは、一旦答弁のほうを当局のほうに求めたいと思います。

総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 69ページのテレビドラマの関係ですが、議員言われるようになかなか著作権の問題もありまして、好きに使えないというところがございます。ただ、一応放送局とは少し話はしております、何か時期がよくなったらみんなで鑑賞することできないかなというようなお話はさせていただいておりますので、ただ、なかなかコロナということもあって、なかなかちょっとうまく使えてはおりませんが、権利の関係厳しいというのと言われるとおりでございます。

次に、かわらメダルにつきましては、こちらにつきましては、当初市民スポーツ大会で配布の予定をしておりましたが、昨年中、なかなか市民スポーツ大会中止になってしまいましたので、提案者がただ柔道の大会をやられていたというところがあります。その部分については、昨年度少し配布をさせていただきました。残った分につきましては、今年度一部実施される市民スポーツ大会とか、いろんな大会等に使っていただけるように考えてございます。

続きまして、70ページのこちら業務委託料の部分でございますが、著作権使用料と業務委託料は、この下に書いてある3つに主に関わってくるものでございます。著作権使用料は、実際この「鬼滅の刃」とコラボするようなどに発生するものでございまして、この業務委託の中には、デジタルスタンプラリーのアプリの制作だとか、そこら辺で発生してくるPRグッズ、クリアファイルだったりバッジだったりポスターだったり、そういったようなものの作製にかかってくる費用になってございます。

あと、交付金の活用をなぜしているのかというようところでございますが、コロナ対応、今回交付金の事例集というものがございます。その中で、そのまま地域の魅力磨き上げ事業というようなものがありましたので、それをそのまま活用させていただいて、地域経済の活性化というようところの一助になっているということで、対象事業という形で列挙させていただいております。

以上です。

○議長（柳沢英希） ICT推進グループ。

○ICT推進G（山下浩二） それでは、主要施策成果66ページのまず音声によるメンタルヘルスシステムの成果について御答弁させていただきます。

本システムにつきましては、これは職員が持っている個人のスマートフォンにアプリをインストールして使うものでございまして、具体的な使い方といたしましては、少し様子がおかしい職員がいた場合に、上司との会話あるいは同僚との会話の中で、少し科学的にどのようなメンタルになっているかということをはかるシステムでございます。

したがって、具体的な成果といたしますと、そういったようなコミュニケーションツールという側面が強いものですから、これだけでその職員のメンタルがいけるというものではございませんが、ただそういった形の話が各現場で広がっておるということは、確認はしてございます。

続きまして、テレワークシステムについてのどれぐらい進んだのかというお話でございますが、主要成果67ページに書いてございますとおり、これも令和2年度におきましてはまずは10台、1月からスタートをしてございます。その後、令和3年度になりまして計50台体制にしておるものでございます。

これ議員御指摘のとおりテレワークというのは、なかなか職員がまず最初の一步を踏み出すのに少し抵抗があるというものでございまして、まずはその経験をさせるというところに、経験をさせてもらうということを主に行っておるものでございます。

令和2年度につきましては10台でございましたので、これはほぼ経験したいという職員でほぼ毎日というか、そういうような形になったんですが、50台体制になったときは、さらにやはりどうしても繁忙期、閑散期ございますけれども、経験していただきたいという観点から、少し研修というところに着目しまして、動画による研修というものを教材を用意いたしまして、それをテレワークで一度経験してくださいということを取り組んでおるところでございます。

ちなみに、現在の配付台数としましては、おおむね5人に1台、月曜日から金曜日、5日ございますので、5人に1台がこれが行き渡るような形ということで今配付してございますが、具体的な成果につきましては、1年たってからまたもう一度検証させていただきたいと思っております。

3つ目のRPAでございますが、こちらのほうは主要施策成果説明書の10ページと11ページを御覧いただきますと、令和2年度におきましては、今年度行った内容というのは、システムの構築期間と職員の研修という形を実施いたしました。これが、令和2年度のスケジュールの実績欄に記入をさせていただいておる内容でございます。

令和3年度につきまして、今、本格的にこれが運用を開始しておるんですが、これ実際職員のほうで、実際使えば使うほど効果があるものでございまして、一人でも多くの職員に使ってもらうということです。これも実は座学方式で一堂に集まって説明をするというところから、動画配信によって使い方をまずは知ってもらうということでございます。

ちなみに、今の段階においては、まだそういった形で運用を開始しているんですが、一番効果を発揮するのがどうしても決算と、年度末の決算にどうしてもこれから業務集中しますので、そのデータを取った上で、具体的な成果についてはまた改めて御報告させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（柳沢英希） 質疑の途中ですが、暫時休憩いたします。再開は11時5分。

午前10時54分休憩

---

午前11時5分再開

○議長（柳沢英希） 休憩前に引き続き会議を開きます。

〔「議長、11番、発言の許可を求めます」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） 11番、北川広人議員。

○11番（北川広人） 総括質疑ということで、今、決算認定のところに入っているところでございますけれども、特に16番議員の方にお問い合わせをしたいんですが、この認定の議案に関しては、この後、決算特別委員会に付託がされるものであります。

総括質疑というのは、基本的に付託をされる議案の大綱の部分を知るとされているのが、御本人も御存じのことだとは思いますが、この後、付託されるということを考えた上で御質問をしていただけないかなど。他の議員の方々のこともしっかりと考えていただけないと、高浜市議会のこの特別委員会を設けているという議会のシステムに対しても、問題になっていくことにつながると思います。ぜひ、そここのところを踏まえた形で進めていただけないでしょうか。

この場で言うことかどうかわかりませんが、ぜひ御理解をいただきたいと思います。御意見、話をさせていただきましてありがとうございました。

○議長（柳沢英希） すみません、私からもなんですけれども、北川議員から今お話がありましたけれども、実際、議員としても全くそのとおりにかなというふうに思っておりますので、16番議員さんに関しましては、それをしっかりと理解をしていただきまして、ほかの議員さんも聞く権利はあると思いますので、そこら辺も踏まえて質疑をしていただければなというふうに思いますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） 私、決算特別委員会に入っておりませんし、1人会派ですので、残念ながら委員会付託されても聞くことができないんですね。ですから、今後高浜市議会としても、できればやはりしっかりと審議して、知らないことを教えていただかないと、私も賛成するのか反対するのかというところがやはり判断できかねますので、聞く機会はどこかで設けていただけたらなという、ちょっと今言うことではないかもしれませんが、意見の下、ただ今回はそういう聞くことがありませんので、ぜひ聞かせていただきたいということと、ほかの議員がということがあれば、ほかの議員が聞けなかったことに対して、じゃお聞きしますので、最後に御質問します。

○議長（柳沢英希） それはそれで意見として承りますので、決算のほうの質疑を引き続きお願いいたします。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） じゃ、ほかの議員さんより、やっていいですか、まだ。お聞きしてもよろしいでしょうか。

〔「大綱についての質疑を求めますので、議長、やっぱりどうしますか」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） なので、大綱としての質疑をちゃんと考えていただければなと思います。先ほどの北川議員の話もしっかりと理解をした上で、質疑をしていただければなと思います。

○16番（倉田利奈） おっしゃりたいことは分かるんですけども、私はやはり判断できません

ので、今回はちゃんと聞きたいと思います。

○議長（柳沢英希） 暫時休憩を求めます。

午前11時9分休憩

---

午前11時18分再開

○議長（柳沢英希） 休憩前に引き続き会議を開きます。

質疑のほうよろしくお願ひいたします。

4番、杉浦浩一議員。

○4番（杉浦浩一） 令和2年度の議会の会議録を拝見させていただきました上でお聞きします。

主要施策成果説明書165ページの新型コロナウイルス感染症対策推進事業（新型コロナウイルス感染拡大防止等支援補助金）についてお伺いします。

以前、検査を行った医療機関は、病院が1か所、診療所が11か所の合計12か所との説明がありました。初めに、補助金を交付したことによる効果をどのように捉えられているか、教えてください。

○議長（柳沢英希） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 今回の補助金は、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行を防ぐため、感染防止対策を行っていたものでございます。

補助金制度の設置以降は、補助金を活用していただいた効果もありまして、市内においては院内感染の発生事例もなく、一度も途切れさせることなく地域医療を提供いただけたと考えております。

また、新型コロナウイルスの検査を実施する診療所及び病院につきましては、上限100万円を加算して補助を行いました。対象となった医療機関は、補助金を活用して、例えば新型コロナ疑い患者とその他の患者が混在しないよう、院内の一室を感染外来室に改装されたり、エアカーテンを設置されたり、オゾン発生器を購入されたりするなど、感染防止を図りながら検査体制の確保に取り組んでいただきました。

結果といたしまして、必要な方が必要なときに地域の医療機関で診療、検査が受けられる体制を維持していただけたと考えております。

○議長（柳沢英希） ほかに。

ほかに質疑を求めます。

7番、長谷川広昌議員。

○7番（長谷川広昌） 総括質疑なんで、ポイントを絞って1点に全集中して質疑したいと思ひます。また、専門的に決算委員会のほうで決算の議員さんがしっかりと質疑されるので、1点に絞って質疑をしたいと思ひます。

決算書の194ページ、実質収支額が約7億円あると思うんですけども、これは私の予測より大きかったと、額が増えて決算されたということなんですけれども、これをどう財政当局として分析をして、この浮いた分を今後どう生かしていくのか、お答えください。

○議長（柳沢英希） 財務グループ。

○財務G（清水 健） 令和2年度の決算において、歳入のほうでは、市税収入が過去最高額の約93億円となっております。財源確保が図られたのですが、コロナ対策としてかなりの歳出を出しております、こちらも過去最高となっております。こんな中、コロナ禍が引き続き続く状態の中で、財政運営が継続的に続けていけるよう、今年度は予算編成を早めに行うことによって、今後の財政運営を安定的に継続していけるよう考えております。

○議長（柳沢英希） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） ありがとうございます。

では、73ページ、2款1項12目の人工知能を活用した未来シミュレーションなんですけれども、委託費が359万7,000円、こちらの今後の活用方法を教えていただきたいのと、74ページの自治基本条例の検証委員会につきましてですが、こちらが意見対応ということで、①、②、③、④となっているんですけども、ちょっとこれ分かりにくくて、例えば、じゃ第9条に関して、私がこの検証委員会のほうを傍聴したところ、第9条に関しての御意見がほとんどだったかと思うんですけども、じゃ第9条に関しては、反対意見が幾つで、賛成意見が幾つだったのか、教えてください。

それから、引き続き84ページの2款1項17目の1節市民相談事務事業なんですけれども、こちらの委託費のほうで、窓口業務委託、こちらが昨年よりも格段にちょっと、昨年が約920万円ですか、こっちが1,343万1,000円ということで、どういう理由でこういうふうに委託費が増えたのかなというところは、ぜひお聞かせいただきたいと思います。

それから、89ページの特別定額給付金、これ国のほうからの1人10万円の給付なんですけど、支払件数4万9,199人ということは、市民のほとんどの方が受け取ったのかなと思うんですけども、そのときの人口が何人かというところが、このときの人口というのがよく細かいところが分かりませんので、一応何%の方が受け取ったのかというところは教えてください。

それから、93ページの戸籍住民基本台帳事務事業なんですけれども、（2）の曜日別証明書発行件数なんですけれども、たしか昨年度いきいき広場の土曜開庁を廃止し、あと市役所の日曜開庁、こちらのほう廃止されたということなんですけど、こちらが特に市民のサービスに影響がなかったかどうか、こちら非常に大事なことですので、教えてください。

それから、94ページの（5）の負担金の部分で、旅券交付事務負担金、こちらが昨年度より下がっているんですけども、結局海外旅行とかなかなか今、簡単に行けない御時世ですので、コ

コロナ禍により、旅券の発行をされている方が下がった分、減っているのかなと思うんですけども、ただ、これちょっと市民の方からいろいろ声が出ていて、たしかこの負担金が、半田市を中心とした3市3町で、半田で交付されるものに対しての負担金かなと思われるんですが、例えば刈谷とか碧南とかは、市役所のほうで旅券の発行ができるものですから、そちらのほうと一緒にやっていただくとか、そういう方法ができなかったのかなというところをお聞きしたいと思います。

半田まで行くというのが、例えば車がある方はいいんですけども、電車だとすごいぐるっと回っていかなきゃいけないものですから、すごく不便で困るんだよねという声が届いておりますので、そこも教えてください。

○議長（柳沢英希） すみません、倉田議員、議案じゃなくてあくまでも決算ですので、そこら辺を踏まえたお話の仕方をしてください。

○16番（倉田利奈） 決算ですので、なぜここの負担金で払わなきゃいけないのかという部分についてを聞いています。

○議長（柳沢英希） であれば、それを明確にして言って、そのまま言っていただければいいと思いますけれども、余分なことは関係ないのかなと思う部分がありますので、その辺を理解してお願いいたします。

○16番（倉田利奈） やはり市民生活に関わることですので、ぜひお聞きしたいと思います。

あと、103ページの3款1項2目の地域福祉推進費で、民生委員さんのお金のほうが挙がっております。今、コロナ禍でも戸別訪問、感染症対策しっかりされて民生委員さんの方、活動一生懸命頑張られている方が見えます。特にコロナ禍で貧困だったり困っている方がいないかということで、活動をより一層頑張られている方がいるということもお聞きしております。ですので、ここあたりの民生委員さんへの活動費というんですか、こちらのほうが638万3,916円、これ適当かどうかというのがちょっとよく分かりづらいので、ちょっと内容について、詳細について教えていただけたらなと思います。

あと、105ページの3款1項2目に民生費ということで、子ども健全育成支援員活動ということで、下に支援内容のほう書かれております。昨日、杉浦康憲議員の一般質問において、高校生とか大学生は、相談窓口がなかなかないんじゃないかというところで、ここが支援活動ということで、一部の方が何かあった場合の支援をここで受けることができるのかなと思うんですけども……。

○議長（柳沢英希） 簡潔にお願いいたします。

○16番（倉田利奈） 何でこんな質問するかというと、昨日の康憲議員の質問を聞いて、そういえば何かこんな条例あったなと思った条例が、高浜市青少年問題協議会設置条例という条例があって、議員が、条例を見ていただくと分かるんですけども、市長のほうで指名して……。

○議長（柳沢英希） すみません、何度も言いますが、質疑は簡潔にお願いいたします。

○16番（倉田利奈） 条例に基づいた運用をしていかなきゃいけないんですけども、それがちょっとこの施策説明書だと、どこにそれが当たるのか分からないですし、ちょっとやっているのかやっていないのかもよく分からないので、そこを教えていただきたいと思います。

それから、112ページの3款1項2目の児童相談で虐待対応も含むというところで、子供のところで186人という数字が挙がっていて、昨年度が87人なのですごくびっくりしております。倍以上ということで、これ多分コロナが原因かなと思うんですけども、どういった内容が増えているのか、またどのような支援ができてきたのか、教えていただきたいと思います。

あと、3款1項3目の自立支援医療費の部分の人工透析なんですけれども、令和2年度は44名の方が人工透析をされているということだと思うんですけども、こちらが、高浜豊田病院で人工透析をされている方が何名なのか、市外とかでされている方が何名なのか、教えてください。

あと、118ページの3款1項3目の障がい者地域生活総合支援で、これ支援体制の方が2人も減っているんですよ。今コロナ禍で、こういうところが減っていて大丈夫かなという心配がございますので、減らしたという理由があれば教えていただきたいですし、減らしたことで何かほかに影響がないのかどうかということも、併せて教えていただきたいと思います。

あと、すみません、その上の委託料なんですけれども、障がい者地域生活総合支援業務委託、それから相談支援業務委託なんですけれども、こちらが何名の方が従事されているのかも併せて教えてください。

○議長（柳沢英希） 終わりですか。

○16番（倉田利奈） はい。それから、すみません、140ページの母子家庭医療事業なんですけれども、コロナ禍によって、DVとか、本当に逆に離婚が減ったとか逆に結婚が増えたりとか、いろんなことがあると思うんですけども、母子家庭医療費受給者の方の変移というのが分かれば、また教えていただきたいなと思います。お願いします。

あと、148ページの3款2項2目、吉浜北部保育園の給食室の空調機器更新工事なんですけど、吉浜保育園、すごく私、心配してまして、こちら吉浜北部保育園、空調機器更新していただくのはすごくいいんですけども、ほかの大規模改修のところの部分、現在どのようになっているのか、今後の動きについて確認したいと思います。お願いします。

それから、あと159ページの3款2項3目の病後児保育事業なんですけれども、こちら見ると、サービスされた方が0人で、延べ人数もちろん0人ということなんですけれども、これコロナ禍の影響なのか、それとも何かほかの要因が考えられるのか、例えばちょっとこの制度使いにくいとか、何かありましたら教えていただきたいと思います。

175ページの4款1項3目の地域医療振興事業なんですけど、こちら分院の移転新築に係る補助金の利子補給補助金、ここが利子相当額ということで1,141万円出ているんですけども、現在、残高

が幾らで、金利何%を掛けた金額になるかというところを教えてくださいたいのと、あとその下の一般病床を開設するために要した経費ということで3,000万円載っているんですが、当初、一般病床はまだすぐに開設しないというお話がありましたので、一般病床、いつから開設して、病床使用率についても教えてください。

それから、その下の固定資産税等補助金4,213万700円、こちら高浜分院に係る部分なんですけれども、これ今、高浜分院を公益のために使っていないものですから、建物に対し固定資産税として補助金を出していいのかどうかというところを確認したいと思います。

それから、177ページの4款1項4目、エコハウスの施設管理業務委託なんですけれども、ここが、この間閉館しました大山会館に比べて随分高いものですから、こちらについても、理由が分かったら教えてくださいたいなと思っております。

それから、主要・新規にも載っております7款1項2目のプレミアム商品券、こちらなんですけれども、目的がここに書かれております。コロナウイルス感染症の影響により、売上げが落ち込んだ市内業者の経営回復支援等と書かれているんですけれども、これに関して、たしか以前委員会等で、市場効果、財政効果について、利盛議員が以前お聞きしているときがありまして、それについてはきちんと出しますよというお話があったので、そのあたりを教えてくださいたいのと、あと結局その参加する人が1万円、商店さん1万円参加費が必要ということで、この1万円がやはり商工会さんに入っている方との差があるということで、なかなか参加できなかった方々もお見えですので、そのあたりどのような商工会さんお考えだったのかなということと、あと2回目の周知もなかなかされていなくて、知らなかったよというところもありますので、本来であれば、住基情報使って市が委託をして、仕様書とかをしっかりと書いて、税金を使うわけですから、市内の皆様にできるだけ公平にプレミアム商品券使っていただけるようにすべきだったかなと思いますが、そういう意味でも、今回委託じゃなくて補助金ということで、制度をされておりますので……。

○議長（柳沢英希） 倉田利奈議員、よろしいですか。

今されている発言も、基本的には議案で上がってきたときに話をされるようなことであって、今の決算で聞くような質疑の話ではないと私は思うんですけれども、そういうことをしっかり理解をして、質疑を簡潔、明瞭にお願いいたします。

○16番（倉田利奈） ですので、委託でやったことによってメリット、デメリットいろいろ後から分かってきたと思います。委託でやらなかったことで。なので、私としてはやっぱり委託でやるべきだったのかなと思うんですけれども、そこら辺のお考えもできたら教えてください。

それから、203ページのSBP、こちらの委託料なんですけれども、市の職員の方も派遣されているということなので、派遣をされている、どの程度派遣されているのかということと、あとこの百五総合研究所さん、こちらのほうに委託をされているので、具体的にどんな御支援をいた

だいているのかというところと、あと過去の事業費、これ始まってからずっと税金のほう使われているということで、特に高浜高校の部活しかちょっと、部活に入っている方しかこちらも使えないというところもありますので、総額と部員の数も教えてください。

あと、細かいことを本来であればいろいろお聞きしたいんですけども、またできれば細かくしっかり内容精査できるような体制をつくっていただけたらなと思っておりますので、お願いします。

○議長（柳沢英希） 当局側の答弁を求めます。

こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） まず、主要施策成果148ページの吉浜北部保育園の給食室の空調の話でございまして、この空調自体は、ここにもありますように、給食室の空調が調子が悪かったものですから直したものであるということで、吉浜北部保育園については、今、現状こういった暫定的に急遽直さないかんものについては、速やかに修繕をしているところで、大規模改修につきましては、また公共施設の推進、あり方計画の中で決めて、改修時期を定めていきたいと思っております。

あと、病後児保育につきまして、こちらについては159ページ、病後児保育事業につきましてですが、こちらその名のとおり病後児ということで、お子さんの病気の回復期について、それでも親御さんが、就労の関係でお子さんを預けたいという場合に御利用いただける制度なんですけど、以前、子育て支援計画のアンケート等取る中でも、やっぱりお母さん方、保護者の方が、子供がしっかり治るまでは自分で見たいというニーズもやはり多くて、それでもなかなか預けられない、預けなくては就労できないという方が、こちらの制度を利用するという形になりますので、どうしてもちょっと利用者数としては少ない形になっているというところでございます。

○議長（柳沢英希） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 主要成果73ページの総合計画策定支援業務委託のところですが、こちらにつきましては、将来どんなふうな高浜が状況になり得るというようなシミュレーションになりますので、総合計画の将来都市像を決定する際に参考にさせていただいて、既におります。また、今後具体的な取組を考えていくステップに入っておりますので、そういったところでも、今回の結果を参考にしていきたいと考えてございます。

74ページの自治基本条例の部分でございまして、パブリックコメント、第9条の部分について御質問いただきました。第9条に関する御意見につきましては6件出ておまして、6件とも反対の意見となっております。

次に、89ページ、特別定額給付金給付事業につきましてですが、人口何人で、何%の人が受け取ったというところですが、こちら実績報告で出しております人数、対象人数としては4万9,356人という人数に対して、4万9,199人に交付したということで、交付率99.7%となっております。

ますので、よろしく願いいたします。

○議長（柳沢英希） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（加藤 直） では、103ページの民生委員活動につきましては、こちらのほう本年度638万3,916円で上げさせていただいています。去年、前年につきましても638万3,868円、端数につきましては改選の関係で端数出ておりました、金額としては変わってはおりません。

それから、105ページの子ども健全育成支援員の活動の高校生の件ですけれども、こちらにつきましては、子ども健全育成支援は、困窮世帯、それからひとり親世帯の子供に対して貧困の連鎖を防止するため、そしてひきこもり等の新たな貧困を発生しないようにするために支援して、相談に応じて支援しているものになります。

確かに支援員さんのほうは、高校生の支援につきましても、中学校からつながっているケースにつきましては対応させていただいているところですが、また新たに中学校、この辺は教育委員会等の情報も得ることができますが、高校生について新たな相談につきましては、情報も少ないことから、今後対応できるかどうかは検討していく必要があるかと思っております。

○議長（柳沢英希） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（中川幸紀） 御質問が4点あったかと思えます。

84ページの窓口業務委託料の増加につきまして、まず御回答させていただきます。こちらは、外国人相談、ポルトガル語、ベトナム語の総合窓口受付業務に対する委託料となりまして、ベトナム人の住民のほうで1,000人を超え、令和元年の8月から試験的に週3回でベトナム語の通訳、翻訳業務を導入いたしました。令和2年度からは週5に増やしたということで、ベトナム語の相談業務が増加したものとなります。

続きまして、93ページで、週休日の開庁窓口の廃止に伴う影響につきまして、こちら令和元年の10月から庁舎の日曜開庁といきいき広場の土曜開庁が廃止されましたが、（2）の表にありますように、証明書の発行件数からも大きな変動はなく、支障はなかったと考えております。マイナンバーカードの交付枚数も順調に増え、コンビニ交付サービスの利用増による分散が図られていると認識しております。

続きまして、94ページの旅券交付事務負担金で、なぜ半田市を含む3市3町でとしたのか、刈谷とか碧南ではなかったのか、負担金でお支払いするのはなぜかというような御質問だったかと思えます。

まず、半田市を中心とした形に決定したというのが、市民利用が高く、最寄りであった半田市の知多旅券センターのほうで平成31年の3月に廃止されたことに伴いまして、市民の利便性と費用面などから検討した結果、半田市をはじめとする3市3町との共同設置となっております。検討段階では、刈谷市とか碧南市、それぞれの共同設置も検討されていましたが、ランニングコストで三、四割コストが抑えられるという試算から、半田市をはじめとする3市3町との共同設置

となっております。

なぜ負担金かということにつきましては、運営につきましては、3市3町の前々年度の実績による申請件数と均等割による運用となっておりますので、それぞれの該当する市町のほうが負担金として支払っております。

最後に、140ページの母子家庭等医療事業につきましては、推移ということの御質問だったかと思えます。母子家庭等の世帯数は、市民窓口のグループのほうでは把握はできません。受給者証の交付枚数は日々増減いたしますが、平均受給者数は、令和元年度が804人に対して令和2年度が792人と減っております。一般的に女性の社会進出による所得制限で減少傾向になっていると考えております。

以上です。

○議長（柳沢英希） 福祉まるごと相談グループ。

○福祉まるごと相談G（野口真樹） 主要成果112ページなんですが、児童のほうで件数が増加しているということですが、152ページのほうに児童虐待の関係で表を載せさせていただいております。

上段の表になるんですが、こちらを見ていただきますと、令和2年度児童虐待185件となっております。このうち、福祉まるごと相談グループで延べ109件の相談をお受けしまして、対応させていただいております。ほかの76件につきましては、家庭児童相談室において、過去に虐待をしてしまった保護者などからの相談とかに対応させていただいております。

109件の内訳としましては、身体的虐待28件、心理的虐待38件、ネグレクト10件、そのほかに泣き声通報など、匿名とかで情報が入ってきます。その確認等で33件、これいずれも刈谷の児童相談センターと協力しながら、家庭訪問したり、注意、指導をさせていただいて、その都度対応させていただいております。

以上です。

○議長（柳沢英希） 介護障がいグループ。

○介護障がいG（野口恒夫） 117ページ、（8）自立支援医療費の御質問いただきました。じん臓（人口透析）44名のうち、高浜豊田病院の通院の人数でございますが、44名のうち16名が高浜豊田病院で透析を受けてございます。

続きまして、118ページ御覧いただきまして、（2）委託料のところ、表真ん中、障がい者地域生活総合支援の人数が減っているというふうで御質問がございました。理由といたしましては、令和元年度でございますが、病気休暇の職員が1名、あとパートタイムの職員が1名在籍しておりましたが、令和2年度は退職されたため、2名減というふうになってございます。

影響というふうで御質問をいただきました障がい児、者の増加によりまして、支援件数は増加してございます。令和2年4月より障害者相談支援事業所が1か所増えてございます。そちらが、

その下の相談支援というところの表にございます。障害者相談支援専門員2名ということで、こちらが新たに立ち上がった支援事業所というふうになってございます。

障害者委託は何名従事しているかというふうで御質問いただきました。ですので、令和2年度、上の障がい者地域生活総合支援の8名と相談支援業務委託の2名、10名で対応しているところでございます。

○議長（柳沢英希） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 175ページ、地域医療振興事業についてお答えいたします。

まず、利子補給補助金でございますが、令和2年度の残高14億円、これに利率0.815%を掛けて算出しております。

それから、経営基盤強化補助金、こちら一般病床ですが、開設時から一般病床は開設しております。病床使用率でございますが、令和2年度80.3%とお聞きしております。

それから、固定資産税でございますが、高浜分院分が1,191万7,400円、高浜豊田病院分が3,021万3,300円でございます。高浜分院の支出につきましては、利益を生まなくなった建物の固定資産税の支払いを支援することで、少しでも早く高浜豊田病院の経営を健全化していただくことを目的に支援しております。

なお、こちらについては、協定書にも規定されて支払っております。

○議長（柳沢英希） 経済環境グループ。

○経済環境G（東條光穂） 177ページの高浜エコハウス施設管理業務委託につきまして、大山会館の施設管理業務に比べて高いよというお話でした。こちらにつきましては、開館時間数と委託業務の内容から見て、そこまで高いとは思いませんが、大山会館が幾らでやっているのかちょっと分かりませんが、違いとして大きなところでは、市の指定袋の販売業務をやっておりますので、フォークリフトの作業ができる方に従事していただくようにしておりますので、そこでもししたら単価が違ってくるのかなということを思います。

続きまして、201ページのプレミアム付商品券事業の目的のところでございます。売上げが落ち込んだ市内事業者の経営の早期回復ということを目的にやっております、今回、商品券の売上げで1億円以上ありましたので、これが全て消費につながっていれば、経営回復、市場効果もあったのではないかと考えております。

商工会に加入されていない方から、参加費1万円を商工会が取っていたということですが、こちらにつきましても、商工会の事業で、商工会が自分のところの商工会員さんを今回を機に入らせていただきたいということでやっておられることですので、こちらも特に問題はなかったかと思っております。

2回目の周知が足りなくて応募ができなかった方がいらっしゃるということでしたけれども、応募はがきのほうも、予定しておりました1万冊を超えて1万1,900件の応募がありました。こ

ちらのほうには、知らなくて応募できなかったというお声は特にいただいておりませんので、きちんと周知できていたものと思っております。

補助金で支払った、委託ではなく補助金というお話でしたけれども、こちらも今回、商工会さんがこのプレミアム商品券事業をやりたいよということで、商工会の要綱に基づいて補助金の支払いをしておりますので、市が市の業務としてやるのであれば委託もあったかもしれませんが、今回は要綱に照らし合わせて補助金で交付をしております。

それから、続きまして203ページのSBP活動推進事業につきましてですけれども、こちら令和2年度は百五総合研究所102万7,000円の委託です。コロナウイルスの関係もありまして、高浜市に来て指導していただいたのは3回で、そのほかにオンラインで支援を3回いただいております。高校生に対しての運営とか、SBPの考え方ですとか、そういったものの支援をしていただきました。

職員の派遣状況につきましてですが、タツヲ焼きプロジェクトということで、試合会場に行つてそこでタツヲ焼きを焼いたりしているんですけれども、その際に道具を運んだりの支援を行つております。ちょっと回数は今、手持ちにありませんので、ごめんなさい。

過去のSBPの事業費ですけれども、平成28年度からやっています、大体1,800万円ぐらいの歳出がありましたけれども、その中にも国からの補助金等もありましたので、実際に市の単独としては600万円程度であったと思います。

過去からの総部員数は60名程度、延べ60名の部員がおります。

以上です。

○議長（柳沢英希） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） ほかに質疑もないようですので、これにて認定第1号の質疑を終結いたします。

暫時休憩いたします。再開は13時。

午前11時55分休憩

---

午後1時00分再開

○議長（柳沢英希） 休憩前に引き続き会議を開きます。

---

○議長（柳沢英希） 日程第4 認定第2号から認定第6号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、認定第何号であるかと、ページ数及び款、項、目、節を明確にお示しいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

11番、北川広人議員。

○11番（北川広人） それでは、よろしくお願いをいたします。

私ども会派では、決算委員も見えますけれども、大綱についてこちらでお聞きをしたいと思えます。

主要成果説明書288ページでありますけれども、令和2年度の国民健康保険特別会計歳出決算の5款1項基金積立金についてお聞きをしたいと思えます。

決算認定の説明の中で、基金積立金の2,544万327円を積み立てて、令和2年度末の支払準備基金残高が3億2,801万7,421円になっているという説明がございました。

新型コロナは、少し落ち着いてきたような感もありますけれども、今後まだ数年にわたって影響を及ぼすのではないかとこの状況の中で、収入が減少する被保険者の増加も景気の後退も懸念がされる場所があります。

そんな中で、この国民健康保険特別会計の運営について、基金の活用を含めてどのように考えてみえるのか、お聞かせをいただきたいと思えます。

○議長（柳沢英希） 市民部長。

○市民部長（磯村和志） 国民健康保険事業は、平成30年度の制度改正によりまして、県が国保財政における運営の主体となりました。県に納付金を納めることで、市町村の医療給付に必要な財源が交付される仕組みが構築されたことから、本市のように小規模な保険者にとって安定的な財政運営が可能になりました。この制度改正に伴いまして、本市では平成30年度に算定方式を変更した上で、前年度と同水準の負担額となるような税率改正を行い、その後は安定した運営を行っております。

しかし、国の激変緩和措置が令和5年度をもって終了することに伴い、令和6年度以降は県への納付金が大幅に増加すると考えられております。加えまして、新型コロナウイルス感染症はいまだに終息のめどが立っておらず、先行きは一層不透明となっております。

このような不安要素があるものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴いまして、被保険者の皆さんの生活が厳しい中、基金の活用や税率の見直しを行わなければならない時期が、予想よりも早く到来したと認識をいたしております。

私どもといたしましては、基金の活用を含めまして、令和4年度から税率の引下げを行ってまいりたいと考えております。

○議長（柳沢英希） 11番、北川広人議員。

○11番（北川広人） 今、令和4年度からの税率の引下げを考えていきたいというお話がありましたけれども、今後もこの国保の推移というのは、非常にしっかりとシミュレーションをした中で、その道を選ぶのかどうするのかというところが一番重要だと思います。

そんな中では、国民健康保険運営協議会というものがある、そこにいろいろとお諮りをして、

御意見を頂戴しているのではないかと考えておりますけれども、その辺のところはどのようになっているのかというところと、それから今言われた税率の引下げとか基金の活用というところについての、その協議会の中ではどのような議論がされているのかを少しお聞かせいただければと思います。

○議長（柳沢英希） 市民部長。

○市民部長（磯村和志） 今年の7月に開催をいたしました国民健康保険運営協議会におきまして、現在のコロナ禍を踏まえた負担軽減だけではなく、国の激変緩和措置が終了することに伴う令和6年度以降の納付金の急増ですとか、国が法改正をして推進をしております県単位の国民健康保険料水準の平準化など、今後予想される制度改正や、それによって生じる財政運営上の課題等を視野に入れた中長期的な展望が不可欠であることを委員の皆様にご説明をさせていただきました上で、御意見をいただいております。

新型コロナウイルス感染症がなかなか終息せず、被保険者の皆さんの暮らしへの影響が長期化する中、令和4年度からの国保税の引下げ及び基金の活用につきましては、議員の皆様から御同意を頂戴いたしております。

今後は、県内の状況ですとか、基金残高のシミュレーションを確認しながら、次回の運営協議会で、税率等につきまして御議論させていただく運びとなっておりますので、よろしくお願いをいたします。

○議長（柳沢英希） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） ほかに質疑もないようですので、これにて認定第2号から認定第6号までの質疑を終結いたします。

---

○議長（柳沢英希） 日程第5 議案第45号 令和2年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について及び認定第7号 令和2年度高浜市水道事業会計決算認定についてを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、認定第7号の質疑に当たりましては、ページ数等をお示しいただきますようよろしくお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） 質疑もないようですので、これにて議案第45号及び認定第7号の質疑を終結いたします。

---

○議長（柳沢英希） 日程第6 認定第8号 令和2年度高浜市下水道事業会計決算認定についてを議題とし、総括質疑を行います。

なお、認定第8号の質疑に当たりましては、ページ数等をお示しいただきますようお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） 質疑もないようですので、これにて認定第8号の質疑を終結いたします。

---

○議長（柳沢英希） 日程第7 決算特別委員会の設置を議題といたします。  
お諮りいたします。

議案第45号及び認定第1号から認定第8号までにつきましては、委員会条例第6条の規定により、8名の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、会議規則第36条第1項の規定により、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） 御異議なしと認めます。よって、議案第45号及び認定第1号から認定第8号までにつきましては、決算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました決算特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第8条第1項の規定により、神谷直子議員、杉浦康憲議員、柴田耕一議員、黒川美克議員、杉浦辰夫議員、鈴木勝彦議員、今原ゆかり議員、内藤とし子議員、以上8名を指名いたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名をいたしました8名の議員を決算特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

---

○議長（柳沢英希） 以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。  
お諮りいたします。

決算特別委員会、常任委員会の開催により、10月1日から10月18日までを休会といたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） 御異議なしと認めます。よって、10月1日から10月18日までを休会することに決定いたしました。

再開は、10月19日午前10時であります。

本日は、これをもって散会といたします。長時間御協力ありがとうございました。

午後1時9分散会

---